

「科学技術と社会安全の関係を考える市民講座」開催について

1. 概要

東京大学は、原子力安全基盤機構および各界有識者の協力を得て、学生を含む一般市民を対象とした「科学技術と社会安全の関係を考える市民講座」を開催する。2005 年 10 月から 2006 年 1 月まで計 6 回を予定。

2. 内容

東京大学は、学生を含む一般市民の方々に、科学技術の諸課題や展望を広範な視点で捉えて、社会安全との関係を理解していただくとともに、原子力ならびにわが国の科学技術の発展を支えていく人材の育成等に資することを目的として、別紙の通り「科学技術と社会安全の関係を考える市民講座」を開催することと致しました。

本講座は、独立行政法人原子力安全基盤機構の協力の下、東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻の特別講義として開催するものです。開催期間は、2005 年 10 月から 2006 年 1 月まで、開催回数は合計 6 回を予定しております。各回では、サブテーマを設定し、原子力分野の専門家、原子力分野以外の専門家、およびサブテーマを幅広い視野で論じて頂ける有識者の 3 名にご講演して頂くとともに、この 3 名をパネリストとしたパネル議論・質疑応答を行う構成となっております。

一般市民の参加者の方々のうち、所定の回数出席して頂いた方には、修了証書を授与する予定です。

参加者の募集は、東京大学および原子力安全基盤機構のホームページなどを通じて、9 月中旬頃から開始する予定です。

3. 問い合わせ先

東京大学大学院工学系研究科原子力専攻教授 班目 春樹
〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
電話番号：03-5841-7419

4. 添付資料

別紙 市民講座の概要

別紙 市民講座の概要

タイトル	科学技術と社会安全の関係を考える市民講座	
講義名	東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻 先進原子力特別講義第一	
共催	独立行政法人原子力安全基盤機構	
後援	経済産業省原子力安全・保安院（予定）	
目的	学生を含む一般市民の方々に、科学技術の諸課題や展望を広範な視点で捉えて、社会安全との関係を理解していただくとともに、原子力ならびにわが国の科学技術の発展を支えていく人材の育成等に資する。	
概要	各回にテーマを設定し、原子力分野の専門家、原子力以外の分野の専門家およびテーマについて幅広い視野で論じて頂ける有識者の3名による講演およびパネル議論を行います。	
概要 （予定）	第1回	テーマ：「技術の安全を考える」 日時：2005年10月15日（土）13:30-17:00 講師：中村浩美氏、近藤駿介氏、田原総一朗氏
	第2回	テーマ：「技術と国際社会を考える」 日時：2005年11月12日（土）13:30-17:00 講師：浅井信雄氏、金子熊夫氏など
	第3回	テーマ：「安全規制を考える」 日時：2005年11月19日（土）13:30-17:00 講師：原子力安全・保安院、小沢遼子氏など
	第4回	テーマ：「危機管理を考える」 日時：2005年12月3日（土）13:30-17:00 講師：野口和彦氏、野村保氏、佐々淳行氏
	第5回	テーマ：「技術倫理を考える」 日時：2005年12月17日（土）13:30-17:00 講師：日和佐信子氏、班目春樹氏、西部邁氏
	第6回	テーマ：「施設立地と環境を考える」 日時：2006年1月14日（土）13:30-17:00 講師：垣迫裕俊氏、竹内舜哉氏、北野大氏
開催場所	東京大学武田先端知ビル（ただし、第4回については別会場を予定・選定中）	
参加申し込み	・ 9月中旬より原子力安全基盤機構、東京大学のホームページなどで募集を開始します。参加者定員は200名程度の予定です。 ・ 申し込み先は下記の通りです。（住所、氏名、年齢、職業、電話番号が必要） 【参加申込先・問い合わせ先】 〒東京都千代田区大手町 2-3-6 三菱総合研究所ビルディング内 市民講座運営事務局 電話：03-3277-4505（平日 9:30～18:00）、FAX：03-3277-3480 Email：jeutoc2005@mri.co.jp	